

## 「ビーチクラフト研修」実施要領

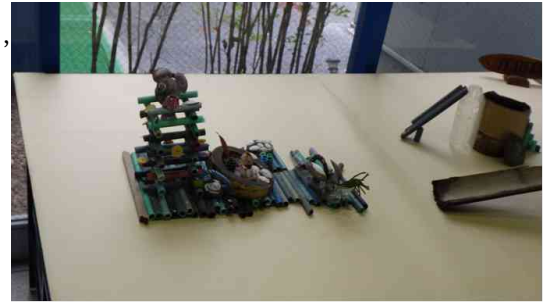
国立江田島青少年交流の家

### 1 内容

本所施設に隣接する荒代海岸で、採集した漂着物を活用して、クラフト活動を行う。

### 2 ねらい

- ・漂着物を活用して、創作活動を行う。
- ・漂着物を活用することにより、物に価値づけをする。
- ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）について、自分なりの考えをもつ。



### 3 対象者

小学校第4学年以上。ただし、保護者又は責任の持てる引率者と活動する場合は第3学年以下でも可能。

### 4 人数

最大50人（他団体と活動が重複する場合は調整する）  
4～5人で班を構成し活動する。  
※9人以上で実施可



### 5 実施場所、実施時期、研修時間

- (1) 実施場所 クラフト室
- (2) 実施時期 5月～11月
- (3) 研修時間 9時00分～16時30分の間

### 6 準備物

#### (1) 個人

準備	<input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> ビーチコーミングで採集した漂着物等
必要に応じて	<input type="checkbox"/> バインダー <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> バケツ等

#### (2) 引率者

準備	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> その他、活動に必要と思われる物 <input type="checkbox"/> 救急バッグ（貸出可）
----	--

#### (3) 交流の家

準備	<input type="checkbox"/> ザル <input type="checkbox"/> たらい等	
活動時に使用する物	クラフト	<input type="checkbox"/> ボンド <input type="checkbox"/> ホットボンド <input type="checkbox"/> ペンチ <input type="checkbox"/> ハサミ <input type="checkbox"/> 雑巾（貸出可）
片付け時に使用する物	<input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> 掃除用具（クラフト室）	

※貸出物品を紛失・破損した場合は実費負担の弁償となる。



例①マテガイの貝殻



例②ガザミの殻

## 7 指導・安全管理

### (1) 指導者の配置・人数・役割分担

団体は次の役割を担う。(小規模の団体は担当を兼ねることができる)

- ① 総括責任者(全体の総括・指導)…1人  
\*実際の引率指導に当たっている団長(学校長, 教頭, 学年主任等)
- ② 指導担当者(用具の準備・後始末の指示, 指導及び安全管理)…1人以上  
\*事故があった場合対応する引率者
- ③ 救護担当者(健康観察・応急処置・AED設置場所の確認)…1人以上

### (2) 事故発生時の措置

- ① 総括責任者: 事故の状況を把握し, 交流の家に連絡をする。
- ② 指導担当者: 事故現場付近に速やかに行き, 事故対応する。
- ③ 救護担当: 応急処置を行う。

事故発生の連絡が交流の家にあった場合, 所長は複数の職員を現場に派遣し, 事故対応, 応急処置に加わらせる。

## 8 展開

(1) 団体は, 物品利用希望書に必要事項を記入し, 一週間前までに交流の家へ提出をする。

(2) 研修生をクラフト室に移動させる。(ビーチコーミング後の場合は, 漂着物等を持って移動する)  
(指導担当者)

- ① 交流の家(事務室)から必要に応じて, 救急箱(1)を受け取る。
- ② クラフト室で班毎(4~5人)に机につく。

(3) 事前指導

(指導担当者)

目的及び活動の留意点を説明する。

(4) 活動の実際

(指導担当者)

- ① 漂着物にどんな物(持ち込みの場合は, どんな物を持参したか)があったか, 確認する。
- ② 班毎(あるいは, 個人で)に, 何を作るか考えさせる。
- ③ 使用物品を貸し出す(ボンドやホットボンド, ペンチ, ハサミ等)。
- ④ クラフト活動を行う。
- ⑤ 作成したクラフトを紹介しあう。  
ア 題名と使用した漂着物(または持参物)を紹介する。  
イ 感想を交流する。  
ウ (時間があったら)各班から感想を発表させ, 全体で交流する。
- ⑥ まとめをする。

(5) 活動後

(指導担当者)

- ① クラフト室の掃除をする。
- ② 使用した物を元の場所に戻す。
- ③ 持参した物品は必ず持ち帰らせる。

(6) 鍵の返却

(指導担当者)

研修終了を交流の家(事務室)に報告するとともに, クラフト室の鍵を返却する。



## 9 連絡先

江田島青少年交流の家   Tel 0823-42-0660  
0823-42-0661